

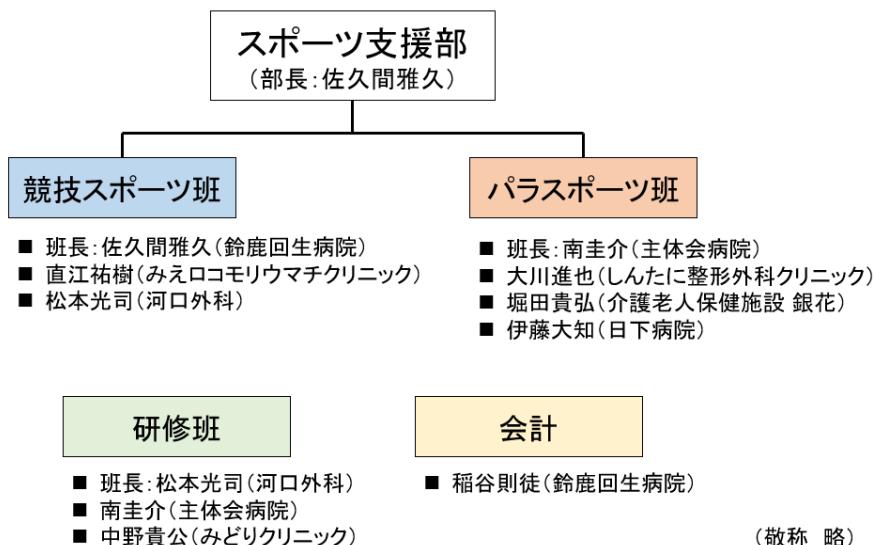
【活動理念】

- ①三重県内で開催される公的なスポーツ大会に貢献する
- ②スポーツ振興活動に対して貢献する
- ③県内の競技スポーツ大会・障害者スポーツ大会の運営に貢献する
- ④スポーツ活動の際に起こりうる障害の予防、発生した外傷の対応を正確且つ迅速に行う人材を育成する
- ⑤永続的な支援活動を行える組織となる

【これまでの変遷】

2001年：三重県スポーツリハビリテーション研究会発足
2002年：高校バスケットボール大会メディカルサポート開始
2004年：高校野球大会メディカルサポート開始
2010年：高校バレーボール大会メディカルサポート開始
2010年：日本スポーツマスターズ2010三重大会サポート
2011年：サッカーU15 チームサポート開始
2013年～三重県スポーツ推進課からの委託事業
市民マラソン大会メディカルサポート
駅伝大会メディカルサポート
2014年：スポーツ指導者講習会開催
2015年4月：三重県理学療法士会 スポーツ支援部準備委員会設置
2017年4月：三重県理学療法士会 スポーツ支援部設置

【組織図】



【活動内容】

競技スポーツ班

- 高校野球（リーダー：鈴鹿回生病院 佐久間雅久）
- 三重県高校野球連盟主催 春季・夏季・秋季大会メディカルサポート活動
- 投手検診（12月・1月）
- チームトレーナー派遣事業（最大年2チーム）
- 高校野球における事例検討会



- 高校バレーボール（リーダー：ユマニテク医療福祉大学校 柴山靖）
- 大会メディカルサポート活動（2月・4月・5月・11月）

- 少年サッカー（リーダー：主体会病院 大島颯太）
- メディカルチェック（1回/年）
- 練習・合宿帯同
- * サッカー班の活動は三重県サッカー協会医科学委員と連携の上活動



パラスポーツ班 (リーダー：主体会病院 南圭介)

パラスポーツ大会での区分判定員としての参加を中心とした、
三重県障がい者スポーツ協会主催事業への参加・支援を行っている。



研修班 (リーダー：河口外科 松本光司)

- スポーツ現場における実技研修会
- 現場で必要な知識および技術に関する研修会
- 内容：ストレッチング、テーピング、応急処置
- 年間2回（基本編・応用編）実施



- スポーツ理学療法セミナー
- スポーツに関わる内容の講演
- 症例検討会（臨床現場やサポート現場で経験された症例）

スポーツ支援部の活動に興味を持っていただき、競技スポーツ・パラスポーツに関係なく「スポーツ現場で活動をしたい」「興味がある」という方は、是非一緒にスポーツ現場で活動してみませんか。参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

河口外科 松本光司

Mail : sportssienbu@gmail.com